

謀略をあばく

(前續)

こういつたデマの恐ろしさを知つてからずでかわが國に於ても今春以來頻發した驍長のスパイ事件のデマ、即ち大阪や下關あたりの大きな驍長をモデルにしてそれがあけられて、はりつけにあつたといつた様なデマがまことしやかに傳へられたのであるが、これなごも決戦下重要な輸送の混亂をねらつた敵の謀略と稱すべきである。

或ひは食ひものをなかにした憲兵ミ巡査の争ひミか、その他いろ／＼なデマが播き散らされたのであるが、そのすべは恐ろしい流言なのである。

斯様な流言の源は「幽霊の正體見たり枯尾花」式につきこめて見るに他愛もないことであつたり、悪賢で捨て、おけなきのためにするもの、謀りごみ、つまり敵側の謀略から生れたものであるが、そのいづれにしても耳を精したり喋つたりするものでない。前の場合は民心の動搖を來し、後の場合は完全な利敵行為で、これは論外のものだからである。

ところが流言の正體がいづれであつてもこれをひろめてゐる原因はわれ／＼の好奇心や杞憂や希望的意見からだといはれてゐる。秘密といふものに對する興味や個人としての憐みや、それに淺はかな物知り顔、そんなもの、間に流言が忍び寄つて、みる／＼うちにひろがつて行くのである。

耳よりな話をきき、耳をたてるのは人間の本能だといへ、こゝに流言の擴がる最初のすきがあるのである。物資不足は思慮不足にも陥るもので、いろ／＼したり、氣にしたりしてゐるあなた方の心は流言やスパイのまたこない温床になるだらうしさらに「かうなつてくれんものかなあ」と思つてゐるさき小耳にはさんだごがだん／＼眞實性を帯びて、つひには眞實に化けてしまふごがあるのである。流言を合理化するために「火のないところに煙はた、ぬ」いいはれるが、これこそ流言を信じさせようとする唯一の切札である。

半信半疑である氣持が謀略のわなへ引きずり込まれる危険な麻薬である。だから火のあるやうに見せかけるために煙だけをあけてゐる悪辣な謀略の手こそ大いに警戒しなければならぬと思ふ。

割を占めてゐたイギリスは武力戰に敗れつゝ、もかうした陰險なあの手この手でドイツを攻めたつつに最後の勝利を握つたのであつてドイツの前皇帝カイゼルが「余は武力戰に敗れたるにあらずイギリスの宣傳戰に敗れたるなり」と嘆いた言葉はこの間の事象をよくつき裏つけたものといひ得よう。

以上によつて大體防諜の重要を認識されたご、思ふのであるが、然らばこうした防諜に對する個人的な心の持ち方を如何にすべきかと言ふごを述べて結びました。

さればごまごしやかな流言でも健康な常識と正しい判斷さへあれば迷はされずに済むもので筋が實情に合はなかつたり、おちがあつたりしてちよつこ考へれば誰にだつて嘘だご分るものである。耳よりな話だからいつてすぐ飛びつくからいけないので、まづ心にゆとりを持つごが大事である。

それから病魔のくひ入る餘地のないやうに心を常に清潔にしておくごも大切だと思ふ。簡単な警戒の手ごは「ご、ご、ご」の語だご「ご」これは秘密だご「ご」ご、前置をつける様な話は一應吟味すべきであると思ふ。

先に募集した「貯蓄増強資料費」に付ては、応募者の中左記を選者ご決定された。

決戦貯蓄

奈良市役所 浦口静子

◎序

貯蓄は國家の運命を賭した聖戰下に其の要望に應じつ、一家の安固が期せられるごいふ一石二鳥の奉公の道である。公債を買つたり貯蓄したりするごは献金ごは些か趣が違ふ、そこに貯蓄の永續性があり、希望が繋される譯である。

私共の一家は官吏生活で収入増加による貯蓄の増嵩ごいふごは極めて困難である、困難だからごいつて貯蓄に誠意を缺く事は國民ごして恥づべき事で、そこに國難打開の途を拓かねばならぬ。一定収入で逐年貯蓄の増加を計るには生活の一大刷新によつて生れる餘剰を貯蓄するごいふ方針で進んだが、現下の時局は、そんな生やさしい方針では相應しくなくなり、先づ貯蓄……然る後、生活……ごいふ眞に決戦生活の實践に到らねばならぬご思ひ、生活の計畫的刷新を行つてゐる次第である。

◎家族の協力

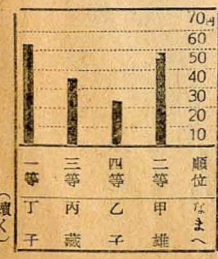
貯蓄……婦のみによつて成功

するものではなく、主人始め子女達に至る迄一家學つて之に理解を持ち、協力することによつて所期の目的が達成せられるのである。私の家では毎朝、食事時、一同膳に就き、神々農民への感謝の言葉を述べた後「勝つまでは貯蓄に全馬力を注ぎませう」の一句を齊唱し子供心に貯蓄心を培ふ一方法ごしてゐる

◎貯蓄競争

主要貯蓄は計畫性を以て進めてゐるが別に隨意貯金ごして子供達に普通郵便貯金をさしてゐるが、之は來客にお土産代りに貰つたものごか、又買ふべくして買はずにすんだ品ある時、その約半額程度を當該の子供に與へる、斯うしたお金は各自進んで貯金帳に入れたる習慣をつけ、尙之が預入には學童以上は郵便局窓口へ必ず自分の手で預入せしめ、貯蓄の知識ご關心を深める方法ごしてゐる。因に毎半年毎に左表の如き預入高表を作つて競争心を喚起してゐる。

預入高表の一例



大和の陣組

九月號

昭和十九年八月二十日印刷
昭和十九年九月一日發行

定價 一部 金貳圓

發行人 秀雄 所 人行發
編輯人 田岡 所 人輯編
印刷所 吉村 所 刷印
發行所 奈良縣 所 行發
地址 奈良縣 所 址地
電話 奈良縣 所 話電

目次

- 一、學童疎開の受入れ
- 二、九月の常會徹底事項
- 三、貯蓄は出来るだけ早く
- 四、青果物配給統制強化要綱
- 五、救急資材の整備
- 六、謀略をあばく
- 七、貯蓄増強資料當選發表

學童疎開の受入れ

大和一致 協力しよう

今や 正に一大國難である。

この戰爭は陸、海軍のみの戰爭ではなく、國民自身の戰爭——國民一人一人の血で、この國土、この國體を護らねばならぬ。

元寇をはじめ日清、日露の國難を打開した祖先の血は、今なほ現代の日本人の血管に脈々としてうけ繼がれてゐるはずだ。

百難來る毎にます／＼奮ひ起つ日本人の眞姿に立ち還るは今、

國民一人残らずが大君にすべてを捧げ盡して總力を滅敵の一點に集中するは今である。

空襲必至を豫期せられる時、防備態勢の完成するために、更に 皇國を繼ぐ若き生命をいささかなりも傷け失ふごなく大自然に抱かれ、安全に保護を加へながらすく／＼ご心身を伸ばしやがて近い將來 御國に御奉公する 皇國民を鍊成しようとする國家の大愛の顯現ごして實施せられてゐるのが學童の疎開である。

1. 緣故疎開

◇緣故疎開とは 學童單身、又は學童を含む世帯が親戚又は緣故者をたよつて疎開するもので目下強力に勸奨せられてゐる。その對象は國民學校全學年に亘り學童疎開の原則ごなるものである。

◇集團疎開とは 緣故疎開に依り難い學童について實施せられるので、その範圍は國民學校初等科三年以上六年迄の兒童で保護者の申請に基いて計畫的に定めて行はれる。

宿舎は 縣内の餘裕ある旅館 集會所 寺院 教會所 別荘等を借上げ集團的に收容して共同生活をせしめる。

日用品 即ち寢具 食器 洗面用具等の身廻り品は最少限度疎開兒童が携行して來る。

教育に就て 必要な教職員が疎開兒童に附添ひ疎開地の地元國民學校が宿舎で教育を行ひ、又地元ご緊密な連絡をして適當な勤勞作業に従事し生鮮蔬菜の自給自足を圖る。

附添職員 疎開學童百人につき先生が二人兒童の身の廻りの世話をする寮母が四人、炊事その他の雜用をする作業員三人合計九人が附添ふごになつてゐる。

物資配給 疎開先での主要食料 調味料 燃料其の他生活必需物資は疎開地方の分を割宛轉換をして、集團疎開學童用に指定し特別配給をする。

受入地元の協力 戰局の現段階を直視し、恩愛の両親の膝下を離れて異郷に生活する學童の身上、或はその家族の心情に充分の同情を持ち、市町村當局、學校教職員は固より警防團、婦人會、青少年團、在郷軍人會、翼賛壯年團其の他諸團體篤志家の特別な協力應援に依り 皇國民の育成に一段の寄與せられん事を希望する。

同覽

「一億鐵石の肚がまへをきめること」

戦局はいよいよ急迫してきました。この最大の難局に立つた私どもは皇國傳統の忠誠心を更に振り起し、大和一致、あくまで決戦に向つて突き進む肚がまへをしつかりと固めねばなりません。今こそあの思ひ上つた鬼畜米英に一億の眞の力を思ひ知らせるときです。

イ、「空襲の備へに手落がないか」しつかり見きわめること」

敵は空襲によつて國內の擾亂を狙つてゐます。不測の心がまへに準備をかため、當局の指示を絶対に信頼して不屈不撓の氣概で國土防衛に當りませう。

ロ、「農村も都市も食糧の増産に一段と努めること」

食糧を増産することは兵器の増産と同じです。天候や病害虫などの悪條件を克服し特にくびいもちや、秋うんかの防除には一段の力を入れて米の増産につとめ、また今秋の麥作は割當以上を必ず作付けするやう準備させよう。このほか春作の跡地や、まだ利用してゐない空地は少しも餘さず秋の蔬菜雜穀などの増産に役立てませう。

ハ、「お互の創意を工夫でもの不足を克服すること」

生活物資を節約することも兵器増産の一つです。食糧は調理や食べ方に少しも無駄のないやうにし、またカマドの改造などによつて燃料を節約すること、衣類は出来るかぎり修理更生につとめるなど、凡て少しの隙間に合せること、考へ出し、お互に教へ合つて決戦生活をがっちり固めませう。

學縣草刈運動強調旬間

第一回 自八月二十日 至八月末
第二回 自九月十五日 至九月二十五日

貯蓄は出来るだけ早く

勞務者諸君の貯蓄特別推進

「勝ち抜く爲に!!」前線將兵の敢闘に答へて、國民貯蓄の成績は毎年目標を突破してゐる。併し乍ら目標は突破してゐるがまだ之では政府が豫定してゐる働きをしてゐない。と言ふのは貯蓄の額が出来ても、その中に買の餘り良くないものが混つてゐるからである。

質の良い貯蓄はほんなものかと言ふに、例へば、甲の人が、勤め先からさか、賣上代金さか、その他或る金を受け取つた場合、その人が、貯蓄せず

にその金で或る品を買つて乙の人に十圓なら十圓支拂ふとする。乙もまた何か買つて丙と言ふ人に十圓を支拂ふ、そして丙なる人が、初めて之を貯蓄して呉れたとしても、この時には、一枚の十圓が既に二十圓の「物」を費消してしまつて、只さへ少なる。

斯様に「物」を喰ひ潰してしまつた貯蓄は同じ十圓の貯蓄でも甲が初めてして呉れるのとはその價值に格段の相違があるのである。

貯蓄は出来るだけ早く、政府から出された金は、その間には貯蓄にされなければならぬ理由がある。言はれるのがである。「源泉貯蓄」そこで去る六月から職域(會社、工場、鑛山、事業場等)の天引貯蓄を奨めてゐるが、もう一つ、最近収入の非常に良い勞務者(大工、左官、土木、小運送、植木職、木挽き其の他)諸君にも一肌脱いで貰はうと思つて、貯蓄組合の結成を奨めてゐる。もう生駒、郡山、櫻井、五條、上市、下市各警察署の管内では、組合も出来てゐるが、全般に見てその貯蓄額はまだまだ低いと思はれる。それで過日縣勞報では、各支部に對して、各収入に應じて貯蓄される様に責目目標額を指示した。

青果物配給統制強化要綱に就て

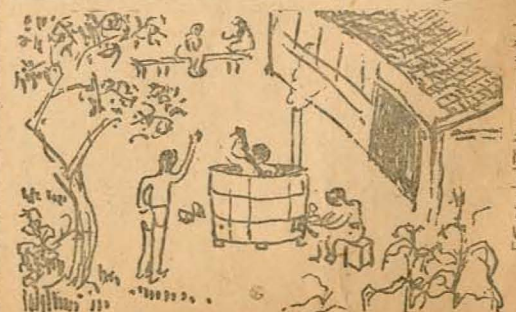
貯蓄と言ふに、何だか取られる様な誤つた感じを持つて、非常に苦しいもの、つらいもの、考へる向もあるが、貯蓄は決して税金や献金ではない。今日の貯蓄は戦争に勝つ爲、國家に大變役立つことは勿論であるが、又自分の爲に將來と言

はす、明日の日から不時の費用があれば、直ぐに役立つものである。毎月々に貯金通帳の額が増へて行くのは得も言はれぬ楽しみであり、殊に子供の名義にしたものが、ゲン／＼増へて、夕食後なご家内揃つて努力の結果を語り合ふことは一層喜びの深いことであらう。

救急資材の整備

空襲があれば、負傷者が出ると思はねばなりません。そのとき手早く應急の準備がされるやうに、家庭や隣組の救急資材を整つてゐるかどうかを點檢して見ませう。家庭でいへば脱脂綿、ガーゼ、三角巾、繃帶、油紙、硼酸軟膏、マールコローム等、隣組では應急擔架骨折用副木、家庭で準備した藥品以外の藥品類等でありませう。

居ります。それで又一方、供出成績の優良な出荷團體に對しては適當な方法で報奨して行くこと。次に集荷を容易にする爲に産地には市町村母に指定集荷場を決めて生産者は此處まで持つて来たなら良い事になりました。後は縣の青果物荷受配給統制協會が責任を以て運ぶことになつて居ります。生産者への代金の支拂も之迄統制制のもの支拂が遅くなつて困る言ふ聲もありました。今度には農業會の立替拂等に依り速に決済することに



明間隣組共同風呂

